

龍谷大学 > 理工学部 > 樋口 > 担当科目 > 2004 年 > 微積分 演習 > 冬のプチテスト案内  
**微積分 演習プチテスト案内** (情報メディア学科 1 年次科目)

樋口さぶろお<sup>1</sup> 配布: 2004/11/24 Wed 更新: Time-stamp: "2004/11/21 Sun 15:52 hig"

冬のプチテストは次のように行います.

### Part 1: 9:20–9:30 外部記憶ペーパー作成

Part 2 で参照する外部記憶ペーパーを, 配布する用紙に, 各自が手書きで作成します. 用紙は A4 両面が使えます.

作成の際には, 教科書, 配布物, ノート, 参考書などのオリジナル, コピーなど, 任意のものが参照できます (開始後の貸し借りはできません).

なお, 外部記憶ペーパーの作成は手書きに限ります. コピー機やカーボン紙によるコピー, 紙の貼り付け, プリンタによる印刷はできません.

### Part 2: 9:30–10:50 答案作成

Part 2 開始時に問題を配布します. Part 1 で作成した外部記憶ペーパーのみを参照可で答案を作成します.

スコアの算出方法 プチテスト終了時に, 外部記憶ペーパーと答案の両方を記名して提出してもらいます. スコアは答案だけから決定します. 外部記憶ペーパーは, 今後の授業の参考とするためだけに使わせていただきます.

### Part1, Part2 に共通する注意

- Part1, Part2 の間に休憩はありません.
- 遅刻して 9:30 以降に入室する参加者は Part2 のみを行います.
- Part1, Part2 とともに, 他の人の資料, メモ, 答案を参照すること, 他の人と相談することは行わないでください.

趣旨 Part 1 で本や印刷物から転記するのではなく, あらかじめ, 自分で重要と思う部分を 10 分間で写せる量にまとめて持ってくることをお奨めします. これは, 持ち込みなしには解けないような難問を出すという意味ではありません. 持ち込みなしでも解けてほしい問題を出題します.

出題範囲 冬のプチテスト範囲は 11 月 25 日の演習の内容までですが, 以下の出題は行いません.

1. ラグランジュの剰余項を使って誤差を評価すること (演習問題 7.1.2 の後半, 演習問題 7.2.2 の後半).
2. 方向微分 (演習問題 8.2).

---

<sup>1</sup>Copyright ©2004 Saburo HIGUCHI. All rights reserved.  
<http://hig3.net/>(講義のページもここからたどれます), <http://www.math.ryukoku.ac.jp/~hig/>,  
<mailto:hig@math.ryukoku.ac.jp>, tel:0775437501 数理情報学科へや:1 号館 5 階 508.